

古典考査予想問題プロジェクト

班で予想問題を作成します。作成した問題はクラスに配り解答させます。作成班は採点をします。40点満点で平均20～30点の予想問題を作成すること。

年 組 番 名前

点  
D/N

趙相平原君公子勝、食客常数千。

秦攻趙邯鄲。平原君求救於楚。扞門下文武備具者二十人、与之俱 得十九人。毛遂自薦。平原君曰、「士処世、若錐処囊中、其末立見。今先生処門下三年、未有聞。」遂曰、「使遂得処囊中、乃穎脱而出。非特末見而已。」平原君乃以備数。十九人目笑之。

至楚定從不決。毛遂按劍歷階升曰、「從之利害、両言而決耳。今、日出而言、日中不決、何也。」楚王怒叱曰、「胡不下。吾与而君言。汝何為者。」

問一、――部(ア)～(エ)の漢字の読みを記しなさい。(2点×4＝8点)

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
-----	-----	-----	-----

問二、＝部(a)～(c)を書き下し文にしなさい。(3点×3＝9点)

(a)
-----

(b)
-----

(c)
-----

問三、――部・を現代語訳しなさい。(4点×2＝8点)

--	--

問四、――部は何を指すか。文中より抜き出しなさい。(3点)

--

問五、――部は書き下し文では「  
となる。それに従い返り点、送り仮名を記しなさい。(3点)

--

問六、――部「  
」とあるのはなぜか。その理由を記しなさい。(4点)

--

※オリジナル問題(5点) これは試験に出そうだ!この作品のポイントだ!という問題を解答欄とともに合計6点分作ってください。  
問七、